

2026 年度第 1 回システム活性化部会 議事録

日 時：2026 年 5 月 20 日 15:15～16:45

場 所：レンタルスタジオ 5S（シャトー高輪 103 号）および WEB 会議の併用

出席者：石井理事長、青山副理事長、志々目理事、則松理事、浦理事、宇佐見理事、桑本理事、坂本理事、堀井理事、吉村理事、若林理事

日笠山幹事

小竹主査、池田主査、瀬瀬国際副委員長、古田資格認定副委員長

薦田最終処分場被災対応タスクフォースリーダー

欠席者：宮脇理事、大野理事、羽染幹事、塩澤普及・啓発副委員長、千葉普及・啓発副委員長、福島主査、副田国際副委員長、下村受託タスクフォースリーダー

1. 前回議事録について

前回議事録は承認された。

2. 報告事項

2.1 計画・設計・維持管理要領 2027 改訂タスクフォース

・進捗状況、メンバーの追加について説明があった。

2.2 最終処分場被災対応タスクフォース

・進捗状況について説明があった。

2.3 運営委員会

・事務所ビルの再開発の遅延状況について説明があった。

2.4 普及・啓発委員会

・進捗状況について説明があった。

・総会・環境講演会（北とぴあ/ペガサスホール）、研究成果発表会への参加申込の依頼があった。

2.5 国際委員会

・APLAS2026 の進捗状況およびイラン情勢のリスク等について説明があった。

2.6 事業活性化委員会

（1）資格認定専門委員会

・進捗状況について説明があった。

・試験講習時に、副理事長へ情報提供等を依頼することを検討している。

・各会員企業に対し、若手等へ受験を働きかけるよう依頼があった。

（２）匠の会

- ・進捗状況について説明があった。
- ・第５６回技術セミナー 産業廃棄物最終処分場の許可 常識？非常識？（６月５日）講師：加藤隆也氏
- ・LSA の技術の外部発信の一環として、自治体などをターゲットとして最終処分場の維持管理講習会を検討中

2.7 研究展開委員会

（１）委員会活動

- ・進捗状況について説明があった。
- ・研究成果発表会（６月２５日（木）１０時）に向け、報告書を作成している。
- ・研究成果発表会への参加申請の依頼があった。
- ・新聞へのプレスリリースについて検討することとした。
- ・廃棄物資源循環学会の埋立部会にて『埋立廃棄物の物性変化と最終処分場のあり方（設計・維持管理）』について発表することとした（５月２９日）。
- ・研究分科会の初年度は、なるべく早く着手できるよう検討することとした。

（２）脱炭素化時代における浸出水処理システムの課題とその対策の研究

- ・進捗状況について説明があった。
- ・熊本市、熊本県の処分場への視察を予定している。

（３）最終処分場における脱炭素化(土木)に関する研究分科会

- ・進捗状況について説明があった。

（４）処分場維持管理への DX 導入加速に関する研究

- ・進捗状況について説明があった。
- ・DeepX 社へのヒヤリングを実施した。

（５）遮水シート固定工に関する研究

- ・進捗状況について説明があった。
- ・IGS の実験については検討中であるが、実施は来期以降となる可能性がある。また、予算の確保が課題である。

（６）最終処分場の計画から廃止に関する調査研究

- ・進捗状況について説明があった。

（７）アジア地域への日本の最終処分システム技術の情報発信に関する研究

- ・進捗状況について説明があった。

(8) 最終処分場における未規制物質への対応に関する研究

- ・進捗状況について説明があった。
- ・主査が林氏から池田氏に交代した。

(9) 漏水検知システムの維持管理・運用に関する研究

- ・2025 年度で終了。成果は計画・設計・管理の改訂に反映よう検討中との説明があった。

2.8 事務局

- ・経費精算書類について説明があった。

書類格納場所：Teams「LSA 理事会システム活性化部会＞2025-26 委員会＞◇LSA 経費支出書」

- ・名簿の更新のお願いと会議費について説明があった。

名簿更新の際は、名簿右上の日付とファイル名を変更することとした。

3. その他

- ・2026 年度 第 2 回システム活性化部会の日程

9 月 10 日 15 : 15 から 16 : 45

議事録署名人 青山 克己 印



議事録署名人 坂本 篤 印

